帯広リトル2年ぶり全道制覇

2年ぶりに東日本選手権出場を決めた帯広リトル

全国選抜予選へ弾み

村下主将「気持ち入れて戦う」

少年硬式野球

東日本出場権を獲得

【札幌】少年硬式野球リトルリーグの第6回東日本選手権道地区予選が10日、札幌白石リーグ球場などで開かれ、帯広（斉藤明会長、石井鉄郎監督）が2年ぶり2度目の優勝を果たし、8月6日から茨城県竜ヶ崎市で開かれる東日本大会出場を決めた。帯広は17日に伏古別公園野球場で開かれるもう一つのビッグタイトル「全国選抜大会道地区予選」の決勝リーグ勝利に向け、大きな弾みをつけた。

（岡部彰広）

◇決勝

小樽潮 000010｜1
帯広 02205X｜9

【小】山形、上野、遠藤－二見【帯】村下－廣井 ▽三塁打＝廣井（帯） ▽二塁打＝廣井（帯）

帯広は決勝で小樽潮と対戦。二回に5番小川滝満（帯西陵中1年）の右中間三塁打や工藤舜生（足寄中1年）の右前打などで2点を先制。五回には大量5点を奪い大勢を決めた。先発登板の村下駿主将（帯八中1年）は6回を被安打2の好投。7チームの頂点に立った。

今季は最上級生の中学1年生が大量9人の布陣で「ひと冬越して、成長してくれれば」（鈴木嗣克コーチ）と期待されていた世代。中学1年生の投手陣5人を中心に守り、少ないチャンスを長打力のある4番廣井強太（帯緑園中1年）らのクリーンアップがかえすのがチームカラーだ。

全国につながる3大会の制覇を目標にしていたが、世界大会までつながる最初の全日本選手権道地区予選（5月）は、決勝リーグで札幌新琴似に4－5でサヨナラ負けの惜敗。今大会は新琴似が全日本選手権出場のため参加しなかったが、悔しい思いをぶつけて圧勝した。

17日の決勝リーグは札幌新琴似と、今大会の初戦で快勝した札幌豊平とのリーグ戦だ。優勝すれば東日本大会は辞退し、8月19日から福岡県北九州市で開かれる全国選抜大会に出場することになる。

村下主将は「（新琴似に敗退した）春の気持ちを忘れてはいない。東日本予選が終わったばかりだが、気持ちはもう本気モードに入っている。僕たちは油断が多くて怒られなければ目覚めないので、最初からを気持ちを入れて戦いたい」と意気込む。

173センチの長身エース小川も気合十分だ。「ストレートには自信がある。新琴似も豊平も攻撃がいいので、みんなと協力して守りたい」と腕を鳴らす。

◇1回戦

札幌豊平 0100｜1
帯広 4103x｜8
（四回コールド）

【札】小山、川田－永井【帯】村下－廣井 ▽本塁打＝廣井、村下（帯） ▽二塁打＝永井（札）廣井（帯）

帯広は初回、1番奥平の中前打に捕逸などで好機を広げると、3番岡田の右前打で先制。さらに主砲廣井の2点本塁打で計4点を挙げた。二回には9番村下も本塁打。四回には5番小川の中前打などで3点を追加し試合を決めた。

◇準決勝

旭川大雪 000000｜0
帯広 10202X｜5

【旭】北野、堤－千葉【帯】小川－廣井 ▽三塁打＝奥平、廣井（帯）

帯広は初戦に続き、初回に攻めた。1番奥平がいきなり中越え三塁打を放ち、南のスクイズで先制。三回には廣井の右中間三塁打で2点を追加し試合を優位に進めた。五回にはバント安打など満塁とし、廣井の中前2点打で大勢を決めた。

＜帯広リトル＞

▽監督 石井鉄郎
▽コーチ 鈴木嗣克 岡田 剛

▽選手

1	小川 滝満	帯西陵中	1年
2	廣井 強太	帯緑園中	1年
3	安藤 和真	帯南町中	1年
4	南 志音	帯緑園中	1年
5	村下 駿	帯八中	1年
6	工藤 舜生	足寄中	1年
7	岡田 一歩	帯二中	1年
8	奥平 聖虎	帯緑園中	1年
9	野坂 広輝	帯西陵中	1年
10	生出 雄作	札内南小	6年
11	黒神 周平	大空小	6年
12	野坂 光太	広陽小	6年

連盟旗野球

（13日）

◇1次戦

☆十勝川A球場

ナイン・ジョーカーズ 0000000｜0
旭山野球愛好会 101200X｜4

【ナ】竹部－下田【旭】剣地－田村 ▽三塁打＝室崎、田村（旭） ▽二塁打＝室崎（旭） ▽審判＝相原、松浦、大東

☆十勝川B球場

六K's 10303｜7
帯広信用金庫 00010｜1
（五回時間切れ）

【六】蒴出、吉田－権野【帯】熊谷、平間－堀川 ▽三塁打＝高野、奥井、杉下（六） ▽審判＝伊藤博、佐藤芳、加藤昭

☆十勝川C球場

十勝三菱自動車販売 0000000｜0
Vertex 001003X｜4

【十】伊藤－高嶋【V】菊池－道下 ▽本塁打＝常富（V） ▽二塁打＝道下、以頭（V） ▽審判＝佐藤孝、黒川、荘田

☆十勝川D球場

東北海道いすゞ自動車 030011｜5
フクハラZ 000000｜0
（六回時間切れ）

【東】小町－川端【フ】細井、山谷－宮本 ▽本塁打＝黒田（東） ▽二塁打＝山田、那須（東） ▽審判＝小川敏、渡辺、伊藤工

＜14日の試合＞（午前5時試合開始）

◇1次戦

▽十勝川A＝博愛会ブルータートルズ－SWATT
▽十勝川B＝六花亭ドジャース－真宗協会
▽十勝川C＝細田不動産－ラッキーボーイズ清川
▽十勝川D＝帯広JP－長原配送

◆2011オール十勝フットサルリーグ1stステージ（8日・すぱーく帯広）

◇F3A

マコちゃんズ 9（0－0、9－0）0 クラップスOB－35
▽得点者【マ】平野3、惣角2、伊藤2、木戸2
▽審判＝道見、山崎

EMERGENCY 3（0－1、3－1）2 球遊会
▽得点者【E】千葉、大野、熊谷【球】上妻2
▽審判＝高橋、萱野

◇F3B

ミュートス清川 6（3－0、3－1）1 中島
▽得点者【ミ】山崎4、酒井、須田【中】上田
▽審判＝田辺、中村

FCカヤニスタ 1（0－0、1－0）0 ばんえいリッキーズ
▽得点者【F】熊谷
▽審判＝中島、熊谷

球友杯野球

（8日・南町C球場）

ピンクパンサーズ 0000010｜1
帯広シニア 0000100｜1
（七回時間切れ）

【ピ】長崎、田中亮－八代【帯】原田、工藤大、小野－後藤 ▽二塁打＝中沢、笹森（ピ）、野呂（帯） ▽審判＝梶、小林、工藤

道陸上選手権

清水（足寄高）男子1500 十勝高校新

男子走り幅跳び 小西（白樺学園高出）大会タイで優勝

陸上競技の第84回北海道選手権兼第96回日本選手権道予選会兼第66回国体道選手選考会（道陸上協会、道体育協会主催）が9、10日、帯広の森陸上競技場で行われた。男子1500メートルは、清水達也（足寄高3年）が3分57秒10の十勝高校新記録（従来は3分58秒58）を樹立し優勝した。男子走り幅跳びは、小西康道（東海大3年－白樺学園高出）が7メートル58の大会タイ記録で優勝、皆川澄人（同－同）は7メートル47で2位だった。女子円盤投げは桑井亜乃（中京大4年－帯農高出）は39メートル49で3連覇を達成。男子三段跳びは皆川が14メートル53で制した。男子砲丸投げは本間勝人（国際武道大大学院1年－帯農高出）が14メートル77、女子同は佐藤あずさ（LALL AC－筑波大、帯農高出）が14メートル10で制覇。女子ハンマー投げは今本有紀（白樺AC）が43メートル81で優勝した。女子走り幅跳びは長平奈々（道教大岩見沢大学院2年－帯南商高出）は5メートル78で制した。清水美穂（白鴎大3年－足寄高出）は女子1500メートルで4分33秒25で準優勝、同5000メートルは17分48秒17で3位だった。

（古川雄介、高橋宏幸）

【男子1500メートル決勝】ラスト1周で大学生2人をかわし、十勝高校新をマークした清水達也（右）

「予想以上のタイム」 高速レース制し自信つかむ 清水達

ラスト1周の鐘が鳴ると同時に全道高体連2冠の清水達也がスパート。歯を食いしばって先行する大学生2人をかわし、猛然とゴールに飛び込んだ。フィニッシュタイムを確認した清水は「よっしゃあ！」と雄たけび。ライバルの松木智雅（白樺学園3年）の持つ1500メートルの十勝高校記録を塗り替え、「気持ちいいですね」と笑った。

最後のインターハイを控え、「大学生についていったが予想以上のタイムが出た」と高速レースに競り勝てたことが自信になった。だが今回のタイムでももの足りない。「3分55秒を出せないと向こうに行っても意味がない」とにらむ。久々に同じ大会に出場した姉の美穂の前での優勝を「（いいところを）見せられたかな」と喜んでいた。

上位3人が3分台のハイレベルなレースに堂々競り勝った姿を見届けた姉は、「昔は全然速くなかったので、みんなあまり期待していなかった。まさかここまで成長するとは」と自分のことのように喜んでいた。

負傷中も好調維持 小西

○…小西康道は6月中旬に左足半月板の靭帯（じんたい）を負傷し、テーピングをして出場。走り幅跳びは、全日本インカレ参加A標準記録の7メートル65にあと7センチ届かなかったものの7メートル58の大会タイ記録、走り高跳びも2メートルをクリアし、負傷の影響を感じさせない健闘を見せた。

大学入学後はケガとの戦いが続いている。練習で追い込みすぎたのが要因となったことから、軽めの練習に抑える日をつくり、練習内容も補強を重視して体調を管理した。今季はここまで関東インカレと学生個人選手権ともに3位に入り、記録も安定している。全日本インカレまで残る試合はわずかだが、「7メートル58は合わせて跳んだ感じなので、（7メートル65は）いつでも跳べる状態」とA標準突破には自信を持つ。1、2年時は負傷の影響で目立った成績を残せていないだけに大舞台への意欲は強く、「今年は優勝を狙う。そうすれば卒業後にもつながってくる」と闘志を燃やしていた。

【男子走り幅跳び】7メートル58の大会タイ記録で制した小西康道

地元で3連覇 桑井

○…女子円盤投げの桑井亜乃は、高校生以来4年ぶりに戻ってきた帯広の森陸上競技場で3連覇を達成。だが、大会の前日に39度の熱を出した影響もあり記録は低調で、「地元だったのでベスト（42メートル85）を投げたかった。親にもいいところを見せたかったのに、申し訳ない」と悔しがった。

今季は41～42メートルの記録を常時出しており、安定感が際立っているが。一方で「（そこから）あと一歩が出ない。技術がまとまりすぎている」と突き抜けた記録を出す爆発力のなさも感じている。大学最後の今年は、参加B標準記録（43メートル）まであと15センチに迫っている全日本インカレの初出場と入賞が目標。「今回下がった分、次で調子を大きく上げたい」と、1週間後の西日本インカレで標準記録突破を目指す。

【女子円盤投げ決勝】39メートル49で3連覇を果たした桑井亜乃

巻き返し誓う 清水美

○…3年ぶりに帯広の森のトラックに帰ってきた清水美穂は、1500メートル、5000メートルともにホクレン勢に敗れて弟・達也との姉弟優勝を逃した。3月に右足の甲を痛め、走り込みが不足していたのが影響。「これから合宿などで体をつくり直し、5000メートルは15分台突入を目指してやっていきたい」と巻き返しを誓っている。

昨季は関東学生女子駅伝優勝に貢献し、全日本学生女子駅伝でも区間3位に入り存在感を示した。一方で、調子のいいときにケガに泣かされることも多く、東日本女子駅伝と都道府県対抗駅伝の北海道代表メンバーに選ばれながら直前に負傷して出場できなかった。その悔しさを糧に「ちゃんとコンディションをチェックして、今年は主力メンバーとして北海道（チーム）に貢献できるよう力をつけたい」と決意する。

3年生となり、今やチームを引っ張る立場。「弟も頑張っているので負けないようにやっていく」と全道2冠を達成した弟の活躍にも刺激を受けながら、悲願の駅伝全国制覇を狙う。

【女子1500メートル決勝】力走する清水美穂（中央）

（決勝1位と関係分8位まで）

【男子】▽100メートル（追い風0・2メートル）＝①馬場友也（東海大札幌）10秒60▽200メートル（追い風1・7メートル）＝①馬場友也（東海大札幌）21秒53⑤今森賛（道教大岩見沢－帯三条高出）22秒06▽400メートル＝①中家省也（東海大札幌）47秒53・大会新▽800メートル＝①藤田大輝（札幌学院大）1分56秒53②松木智雅（白樺学園高）1分57秒57⑦谷口昂平（同）1分59秒86⑧藤澤祐輔（旭川東高－帯緑園中出）2分0秒38▽1500メートル＝①清水達也（足寄高）3分57秒10・十勝高校新▽5000メートル＝①菊地賢人（明大）14分32秒62⑦島口翔太郎（滝川西高－緑南中出）15分33秒52▽1万メートル＝①菊地賢人（明大）32分11秒23▽110メートル障害（追い風1・9メートル）＝①堤毅（CFA）13秒95・大会新▽400メートル障害＝①佐藤陽太（旭川大高）52秒63②佐々木康尊（東海大札幌－白樺学園高出）52秒88▽3000メートル障害＝①神直之（文教大）9分19秒72⑥樋口亜走（音更高）9分55秒17▽1万メートル競歩＝①青野大地（山梨学院大）44分47秒10⑥大野文也（帯農高）50分54秒81▽400メートルリレー＝①東海大札幌（佐々木悠亮、大町蓮、遊佐健太郎、馬場友也）41秒14④白樺学園高（磯部晃太、高野元博、蓮井健太朗、杉山智樹）42秒99▽1600メートルリレー＝①東海大札幌（井川滉平、森香樹、佐々木康尊、中家省也）3分18秒05④白樺学園高（杉村俊太郎、中西敬靖、小田原和也、松木智雅）3分23秒49▽走り高跳び＝①山下義弘（小樽水産高）2メートル06③小西康道（東海大－白樺学園高出）2メートル00▽棒高跳び＝①黒木大地（日体大）4メートル80②長谷川裕倫（白樺学園高）4メートル70▽走り幅跳び＝①小西康道（東海大－白樺学園高出）7メートル58（追い風1・4メートル）・大会タイ②皆川澄人（同－同）7メートル47⑥石橋尚晃（白樺学園高）6メートル87▽三段跳び＝①皆川澄人（東海大－白樺学園高出）14メートル53（追い風2・0メートル）④石橋尚晃（白樺学園高）14メートル20▽砲丸投げ＝①本間勝人（国際武道大－帯農高出）14メートル77②加藤剛（十勝陸協）13メートル71④山下善己（帯畜大）13メートル23▽円盤投げ＝①久保陽平（日大）44メートル01③有富幸治（帯農高）37メートル40⑦山下善己（帯畜大）34メートル50▽ハンマー投げ＝①石原裕一郎（旭川北高）47メートル48⑤長濱聡志（空知陸協－帯畜大出）44メートル26⑥長濱隆太（酪農学園大－帯農高出）43メートル37▽やり投げ＝①郷登志史（東海大札幌）61メートル57▽十種競技＝①白府将弘（順天堂大）5871点

【女子】▽100メートル（追い風2・3メートル）＝①北風沙織（北海道ハイテクAC）11秒64②五十嵐友（北翔大－帯南商高出）11秒87※北風は準決勝で11秒77（追い風1・2メートル）の大会新▽200メートル（追い風0・3メートル）＝①山谷有里紗（北翔大）25秒22⑥武田美里（帯緑園中）26秒22▽400メートル＝①本庄ななみ（滝川西高）57秒50▽800メートル＝①沖田真理子（都留文科大）2分12秒42▽1500メートル＝①橋本和美（ホクレン）4分31秒69②清水美穂（白鴎大－足寄高出）4分33秒25④山下裕未（恵庭南高－帯八中出）4分42秒84▽5000メートル＝①橋本和美（ホクレン）16分43秒11③清水美穂（白鴎大－足寄高出）17分48秒17▽100メートル障害（追い風1・2メートル）＝①寺田明日香（北海道ハイテクAC）13秒61⑤安孫子飛鳥（帯農高）15秒15▽400メートル障害＝①牧野桃子（道教大岩見沢）1分3秒30④新倉榛名（帯農高）1分5秒63▽1万メートル競歩＝①松本彩映（中標津高）50分44秒10・北海道新▽400メートルリレー＝①北翔大（釼持明那、五十嵐友、奥塚みなみ、山谷有里紗）46秒99⑤帯農高（柴山つぐ美、上原志津佳、安藤里奈、安孫子飛鳥）50秒07▽1600メートルリレー＝①道教大岩見沢（佐々木奈穂子、中島悠貴、成澤希依、牧野桃子）4分0秒93⑤帯農高（上原志津佳、安藤里奈、新倉榛名、児玉めぐ莉）4分8秒43▽走り高跳び＝①京谷萌子（道教大岩見沢）1メートル71⑤長平奈々（同－帯南商高出）1メートル55▽棒高跳び＝①下内沙織（北翔大）3メートル00▽走り幅跳び＝①長平奈々（道教大岩見沢－帯南商高出）5メートル78（向かい風1・2メートル）③柴山衣理（十勝陸協）5メートル64▽三段跳び＝①沼田亜侑美（北大）11メートル55（追い風1・1メートル）▽砲丸投げ＝①佐藤あずさ（LALL AC－筑波大、帯農高出）14メートル10②犬伏志歩（帯農高）13メートル08③伊藤楓（道教大岩見沢－帯農高出）12メートル96④立花あゆみ（帯農高）10メートル80⑤堀部茜（同）10メートル74⑦寺井沙希（同）10メートル34⑧斉藤胡桃（池田高）9メートル96▽円盤投げ＝①桑井亜乃（中京大－帯農高出）39メートル49②寺井沙希（帯農高）37メートル45▽ハンマー投げ＝①今本有紀（白樺AC）43メートル81②犬伏志歩（帯農高）41メートル54③長谷部生雪（同）36メートル35▽やり投げ＝①中野あい（札幌山の手高）37メートル92④若原莉子（帯農高）35メートル15▽七種競技＝①石黒りえ（道教大岩見沢）4525点⑤安孫子清花（帯農高）3127点

かちまいスポーツ

記録の速報は▼kachimai.mobi Eメール▼sports@kachimai.co.jp
写真がほしい▼TEL0120-25-9410 ファクス▼0155-25-2700